

# 乳牛の夏バテ防止技術を実証！

畜産試験場では、夏場の暑熱による牛乳の生産性低下を防ぐための新技術開発に昨年度から取り組んでいます。今年、酪農家での実証試験を実施し、乳牛の夏バテをのりきることのできる技術を開発し、実証した酪農家でその試験結果概要報告会を開催しました。

当日、奥越管内の酪農家や関係機関、マスコミ等が集まる中、和田主任研究員から、「糖源物質であるグリセリンを給与することにより、第一胃内の発酵熱発生が抑えられ、その結果、体温上昇も抑制される。今回の試験でもグリセリンを給与しない牛に比べ、約7%乳量が多い結果となった。乳牛30頭規模の農家で、夏場で約25万円程度の増収となる。」との説明があった。

今回、試験に協力していただいた杉原さんも、「この効果については実感をしており、今後、給与のハンドリング等の改善（ペレット化など）ができれば使いやすい良い技術である。」と語っていました。

今後、畜産試験場では、農家での繁殖成績なども見ていき、乳量以外での効果についても調査する予定です。



牛のエサにグリセリンを混ぜる



グリセリンを混ぜたエサを給与する